

## 第五回運営運営委員会議事録

日時：平成25年2月17日 15時半～17時半

会場：宇部フロンティア大学B106心理学実習室

出席者：栗原、酒木、佐藤、菅野、鈴木、高島、田中、實川、戸田

欠席者（委任状宛先）：酒井(酒木委員長)、藤本（菅野）、藤原（酒木委員長）

監事：瀧野

陪席・傍聴会員：三島（大連国際学会担当）西田（発言者記録簿担当）財津(会員)

来賓：宋協毅大連大学筆頭副学長 宋哈先生

## 1) 「(仮称) 第49回日本臨床心理学会大連国際大会」企画検討

大会名：第49回日本臨床心理学会大連国際大会

「東アジアの臨床心理学—交流の新時代」

日程：平成25年7月4日(往路)、5日(大会1日目)、6日(同2日目)、7日(帰路)

・1日目

午前：

自然災害と心理学＝日本からの報告＋中国からの報告

午後：

①日本の臨床心理の現状と課題（担当：酒木他・未定）

以下は素案；プラグマティックなものを／薬害のシンポジウム、地域臨床心理学の本に沿ったもの(研修委員会の東京シンポジウムの報告を含む)／内観療法(日本と中国の共通の課題を考える上でのテーマとして)／精神障害への対応について時系列で捉える（亀口）／心理療法の成り立ち／ユーザーの問題

②中国の臨床心理の現状

③臨床心理学への取り組み

以下は素案；デイケア、生活支援など、日本の実務的な部分を発信／ヒアリングヴォイスズの発表をお昼前に行い、比較民俗学の方からの質問、意見、感想を受ける／日本の臨床心理における現状と課題／東京大会の報告／中国からはロールシャッハなどの研究／宇部大会の報告

・2日目

比較民俗学シンポジウム

比較民俗学シンポジウムには、大連大学の関係の先生にもご登壇いただく。

\*国際学会としての留意事項の確認《宋先生より》：

今の両国間の政治的な情勢に触れないで行う。

昨年11月に予定された内容で、中国では問題なし。

総会及び運営委員会は別日程で開催

時期：第一案：10月26日、27日 追ってメーリングリストで確認

場所：関西

内容：4月20日、21日の運営委員会で決定する

## 2) 大会広報

学会HPに、大会専用ページ作成、あるいは、大会専用HP作成とリンク設定

日本語、中国語の両方のPDFを用いる。

国際大会の広報として、会員外また国内外の人たちにできるだけ多く、この学際的国際交流の催しを知ってもらうためには、HPにての広報、またフェイスブック、ツイッター（日本学術会議も開設）等のSNSを活用する。

大連国際大会の案内文の締め切り 2013年3月17日

## 3) HP作成・整備・更新の業者委託の検討

**HPのスパムに関する整備に関しては、有料のソフトを用いて対処する（担当：鈴木）**

臨時総会で決まったことを公示する。

『臨床心理学研究』第50巻2号に掲載